



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 株式会社AOKIホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 8214 URL <https://www.aoki-hd.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 春生  
問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 江口 聡 (TEL) 045-941-1388  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	129,427	2.7	7,514	9.0	6,909	3.6	4,593	20.2
2024年3月期第3四半期	126,015	5.8	6,896	56.5	6,667	72.6	3,822	99.6

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,983百万円(9.9%) 2024年3月期第3四半期 3,625百万円(75.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	54.65	—
2024年3月期第3四半期	45.42	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	218,372	136,772	62.5
2024年3月期	236,327	137,056	57.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 136,467百万円 2024年3月期 136,757百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	13.00	—	37.00	50.00
2025年3月期	—	15.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	40.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	191,800	2.2	15,000	8.2	14,300	8.0	8,000	5.6	95.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無
- (注) ①の詳細は、添付資料8ページ「会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	86,649,504株	2024年3月期	86,649,504株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	2,551,659株	2024年3月期	2,626,986株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	84,060,121株	2024年3月期3Q	84,159,986株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料について）

・第3四半期決算補足説明資料については、2025年2月7日(金)にTDnetに開示するとともに当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

	頁
1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績及び雇用・所得環境の改善や個人消費も底堅く推移するなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、不安定な海外情勢、円安を背景にエネルギーや原材料価格の継続的な上昇、また、それらによる物価上昇などにより、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、当社グループは下記のような諸施策を実施した結果、売上高は1,294億27百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は75億14百万円（前年同期比9.0%増）、経常利益は69億9百万円（前年同期比3.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は45億93百万円（前年同期比20.2%増）と増収増益になりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

#### (ファッション事業)

ファッション事業のAOKIでは、商品面において、既製スーツで上下のサイズが異なるお客様に向けて、オーダー感覚でサイズをお選びいただけるクイックオーダースーツの取扱いを全店に拡大し、お客様のニーズにお応えするなどスーツの販売体制を強化いたしました。また、レディースでは、働く女性の応援プロジェクト「MeWORK（ミワーク）」を新ブランドとして本格始動し、今後は更なる商品開発の強化と品揃えを拡充することで認知度向上とシェア拡大を図ってまいります。ORIHICAでは、一日の寒暖差が激しく着こなしに悩む季節に着回しにより快適にお過ごしいただける「オフィスダウン」の展開など、ビジカジ商品の拡充とスタイリング提案を強化いたしました。店舗面では、AOKIで移転により1店舗及びORIHICAで未出店エリアなどに9店舗を新規出店した一方、営業効率改善や移転のためAOKIで2店舗、ORIHICAで1店舗を閉鎖した結果、当第3四半期末の店舗数は600店舗（前期末593店舗）となりました。

これら諸施策の実施及びカジュアル衣料の売上が伸長し既存店が堅調に推移した一方、集客のための販売促進の強化や人件費などが増加した結果、売上高は619億26百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は9億83百万円（前年同期比40.9%減）となりました。

#### (エンターテインメント事業)

複合カフェの快活CLUBでは、鍵付き完全個室店舗の拡大を推進するとともに、ダーツなどの人気コンテンツの導入や最新機種への入れ替えを行い室内アミューズメント需要の拡大に向けた取り組みを実施いたしました。また、金のポテトや期間限定の焼きカレー&冬うどんなど飲食メニューを強化いたしました。カラオケのコート・ダジュールでは、新パーティーコースの開始など飲食メニューの充実及び各種宴会・パーティー需要の取り込みを図るとともに、各種クーポン配信による来店促進施策を強化いたしました。24時間営業のセルフ型フィットネスジムのFIT24では、無料体験会の開催や18歳から22歳限定のU（アンダー）22プランの強化など、新規会員の獲得に注力いたしました。店舗面では、快活CLUBで10店舗及びFIT24で2店舗を新規出店した一方、営業効率改善のため、快活CLUBで6店舗、コート・ダジュールで5店舗及びFIT24で2店舗を閉鎖した結果、ランシステムの複合カフェ自遊空間他82店舗（内フランチャイズ49店舗）を含め、当第3四半期末の店舗数は773店舗（前期末784店舗）となりました。

これら諸施策の実施等により既存店が堅調に推移した結果、売上高は575億16百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は56億79百万円（前年同期比15.1%増）と増収増益になりました。

#### (アニヴェルセル・ブライダル事業)

アニヴェルセル・ブライダル事業では、集客イベントへの参画などにより引き続き受注活動を強化するとともに、好調店のノウハウを全店へ展開することで成約率及び組単価アップに向けて接客力向上に注力いたしました。また、表参道店においてシーズナブルイベント「ANNIVERSAIRE Christmas 2024」を開催し、クリスマス限定プロポーズプランの販売や、アニヴェルセルカフェ限定メニューを提供いたしました。

これらの諸施策の実施及び前年の9月中旬まで休館中であった表参道店の稼働により施行組数が増加したこと等により、売上高は83億65百万円（前年同期比13.9%増）、営業利益は3億27百万円（前年同期は営業損失5百万円）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業では、前期に当社グループ外へ賃貸した店舗が寄与したこと等により、売上高は51億19百万円（前年同期比17.0%増）、営業利益は11億87百万円（前年同期比36.8%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、季節的要因等により前連結会計年度末と比べ179億54百万円減少し、2,183億72百万円となりました。

流動資産は、棚卸資産が仕入高の増加等により23億45百万円増加した一方、現金及び預金が101億23百万円、売掛金が季節的要因等により72億82百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ154億3百万円減少いたしました。固定資産は、投資その他の資産の繰延税金資産等のその他が27億4百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ25億50百万円減少いたしました。

(負債)

流動負債は、短期借入れを30億円実施した一方、買掛金が季節的要因等により46億69百万円、未払法人税等が法人税等の支払い等により18億36百万円及び賞与引当金が賞与の支払い等により28億85百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ89億66百万円減少いたしました。固定負債は、長期借入金が約定返済等により83億43百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ87億4百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産の部は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益及び配当金の支払いの結果2億23百万円増加した一方、投資有価証券の売却等によりその他有価証券評価差額金が5億51百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ2億83百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、ファッション事業では10月に一部残暑の影響を受けたものの、その他の事業を含め概ね堅調な動きが継続し、通期の進捗に対して売上高は概ね予定どおり、利益はやや上回って推移いたしました。

通期の連結業績予想については、原材料価格等の上昇率はやや落ち着きを見せているものの、物価上昇に伴う個人消費への影響や第4四半期のファッション事業におけるフレッシュャーズ等の特定マーケットの状況により大きく変動する可能性があります。2024年11月8日(金)に公表した連結業績予想数値の修正は行っておりません。

なお、添付資料10ページ(重要な後発事象)についても合わせてご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	35,657	25,533
売掛金	15,442	8,160
棚卸資産	22,247	24,592
その他	8,496	8,158
貸倒引当金	△42	△48
流動資産合計	81,800	66,396
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	64,406	64,860
土地	30,693	30,424
その他（純額）	15,941	16,269
有形固定資産合計	111,042	111,554
無形固定資産		
投資その他の資産	6,771	6,563
差入保証金	6,446	6,251
敷金	18,873	18,919
その他	11,446	8,741
貸倒引当金	△52	△54
投資その他の資産合計	36,713	33,858
固定資産合計	154,526	151,976
資産合計	236,327	218,372

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	18,713	14,043
短期借入金	—	3,000
1年内返済予定の長期借入金	9,842	9,656
未払法人税等	2,106	269
賞与引当金	3,790	904
役員賞与引当金	240	118
その他	17,165	14,899
流動負債合計	51,857	42,891
固定負債		
長期借入金	32,687	24,343
退職給付に係る負債	607	584
資産除去債務	7,914	7,907
その他	6,203	5,873
固定負債合計	47,412	38,708
負債合計	99,270	81,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	22,597	22,612
利益剰余金	92,813	93,036
自己株式	△3,047	△2,959
株主資本合計	135,645	135,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	741	190
退職給付に係る調整累計額	369	304
その他の包括利益累計額合計	1,111	495
非支配株主持分	299	305
純資産合計	137,056	136,772
負債純資産合計	236,327	218,372

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	126,015	129,427
売上原価	76,218	77,110
売上総利益	49,797	52,316
販売費及び一般管理費	42,900	44,801
営業利益	6,896	7,514
営業外収益		
受取利息	49	56
受取配当金	23	20
その他	152	134
営業外収益合計	225	211
営業外費用		
支払利息	218	207
固定資産除却損	40	141
差入保証金・敷金解約損	6	159
その他	189	308
営業外費用合計	454	817
経常利益	6,667	6,909
特別利益		
固定資産売却益	—	184
投資有価証券売却益	48	563
収用補償金	—	165
受取解決金	500	—
特別利益合計	548	913
特別損失		
固定資産売却損	—	19
減損損失	741	992
特別損失合計	741	1,012
税金等調整前四半期純利益	6,474	6,810
法人税、住民税及び事業税	1,254	852
法人税等調整額	1,422	1,357
法人税等合計	2,676	2,210
四半期純利益	3,797	4,600
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△24	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,822	4,593

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	3,797	4,600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△118	△551
退職給付に係る調整額	△53	△64
その他の包括利益合計	△171	△616
四半期包括利益	3,625	3,983
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,650	3,977
非支配株主に係る四半期包括利益	△24	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第3四半期累計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファッ ション 事業	エンター テイメント 事業	アニヴェ ルセル・プ ライダル 事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
ファッション	60,765	—	—	—	60,765	—	60,765	—	60,765
複合カフェ	—	44,133	—	—	44,133	—	44,133	—	44,133
カラオケ	—	7,792	—	—	7,792	—	7,792	—	7,792
フィットネス	—	3,934	—	—	3,934	—	3,934	—	3,934
ブライダル	—	—	7,337	—	7,337	—	7,337	—	7,337
その他	—	666	—	—	666	46	713	—	713
顧客との契約から 生じる収益	60,765	56,526	7,337	—	124,630	46	124,676	—	124,676
その他の収益	—	56	—	1,281	1,338	—	1,338	—	1,338
外部顧客への売上高	60,765	56,583	7,337	1,281	125,968	46	126,015	—	126,015
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	10	3	3,095	3,111	48	3,159	△3,159	—
計	60,768	56,593	7,341	4,376	129,079	95	129,174	△3,159	126,015
セグメント利益 又は損失(△)	1,665	4,933	△5	868	7,462	△4	7,457	△561	6,896

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△561百万円には、セグメント間取引消去3,035百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,597百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」及び「エンターテイメント事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖や業態転換が決定し又は損益が継続してマイナスとなり回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においてはそれぞれ23百万円及び717百万円です。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファッ ション事業	エンター テイメント 事業	アニヴェ ルセル・ブ ライダル事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
ファッション	61,925	—	—	—	61,925	—	61,925	—	61,925
複合カフェ	—	45,500	—	—	45,500	—	45,500	—	45,500
カラオケ	—	7,723	—	—	7,723	—	7,723	—	7,723
フィットネス	—	3,840	—	—	3,840	—	3,840	—	3,840
ブライダル	—	—	8,360	—	8,360	—	8,360	—	8,360
その他	—	378	—	—	378	47	425	—	425
顧客との契約から 生じる収益	61,925	57,442	8,360	—	127,728	47	127,775	—	127,775
その他の収益	—	63	—	1,587	1,651	—	1,651	—	1,651
外部顧客への売上高 セグメント間の内部 売上高又は振替高	61,925 0	57,505 10	8,360 4	1,587 3,532	129,380 3,547	47 48	129,427 3,596	— △3,596	129,427 —
計	61,926	57,516	8,365	5,119	132,927	95	133,023	△3,596	129,427
セグメント利益 又は損失 (△)	983	5,679	327	1,187	8,178	△7	8,171	△656	7,514

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△656百万円には、セグメント間取引消去2,849百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,505百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「エンターテイメント事業」及び「不動産賃貸事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖が決定し又は損益が継続してマイナスとなり回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においてはそれぞれ47百万円、915百万円及び29百万円です。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	7,176百万円	7,437百万円
のれんの償却額	61 "	61 "

(重要な後発事象)

2025年1月18日に当社の連結子会社である株式会社快活フロンティアのサーバーに外部からの不正アクセスを受け、同社が管理しているお客様の個人情報の一部が漏えいした可能性があることが判明いたしました。本件について対策本部を設置し、外部セキュリティ専門家の助言を受けながら、影響範囲等を調査し対象となるお客様への対応及び再発防止に全力で取り組んでおります。

本件に係る業績への影響は現在精査中であり、開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。